

三番町閑話

29

花火見物でお馴染みの「たまやー」
「かぎやー」の掛け声。

歴史ある隅田川の花火は全国に知
れ渡っている。記録に残るものは、
江戸時代の両国の花火が最古とあ
る。

1732年、大飢餓と疫病で多くの人
が亡くなり、国勢にも多大な被害と
影響を及ぼした。翌年、時の8代将
軍吉宗は犠牲となった人々の慰霊と
悪病退散を祈願する目的で、川開き
の両国で水神祭を実施した。その際
両国の料理屋が公許のもと、花火を
打ち上げたのがルーツとされている。
その料理屋が鍵屋、後に暖簾分

隅田川花火大会

けたのが玉屋であった。「両国の
川開き」の呼び名で、打ち上げ場所
は両国橋上流。明治維新や第二次世
界大戦等により数度中断したが昭和
36年まで開催された。

交通事情の悪化、隅田川の環境問
題などで中断した時期を経て、昭和
53年、名称も新たに復活。打ち上げ
場所も移動して2カ所になり、より
多くの人々が鑑賞出来るようになった。
人出は約100万人という。

生まれも育ちも駒形。幸い、我が
家はロケーションに恵まれており、
屋上で大きな花火を観ることができ
る。スカイツリーのもと、毎年7月
最終土曜日に顧問先や税理士仲間と
江戸風情を楽しむ、真夏の恒例行事
だ。

税理士 宮本 雄司 (日本税理士会
連合会 理事)